

本高同窓会報

発行
本高同窓会
会長 岡 祐 孝
事務所 本庄市銀座3-5-8
岡 病院 内

本庄高校同窓会各位

本庄高校同窓会会長 岡 祐 孝

総会開催御案内

木々の緑 日毎に色めく季節となりました。皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。さて本庄高校同窓会では下記の如く定期総会を開催し、会員の親睦と母校への協力を深めたいと思っております。更に本年より母校教壇で御指導戴いた恩師（内田典夫、前島堅二郎、栗田竹雄三先生）をお招き致し親交を温めさせていただきますことも計画しました。皆様の御出席を心よりお待ち申し上げます。

日時 6月9日(日) 午後3時30分
場所 埼玉グランドホテル(本庄駅南口)
内容 午後3時30分より 総会
午後4時30分より ティーパーティー(無料)
柏グリーンクラブ出演(母校OB中心の合唱団)
午後5時より 「恩師を囲んで」懇親会(会費3,000.)

昭和59年度事業報告

※若人には本高合唱部OB中心の柏グリーンクラブの合唱とティパーティー、先輩には恩師を囲んでの懇親会が催されます。

- 59年5月1日 顧問会議開催
- 6月17日 定期総会開催
- 7月9日 第一回役員会
- 7月24日 高校野球応援
- 8月3日 第二回役員会
- 8月3日 名簿作成委員会開催
- 8月16日 同窓会会報編集会議開催
- 9月4日 調査カード発送

- 9月8日 第三回役員会
- 9月17日 入金金値上げ要請
- 9月22日 柏友会(高14回卒)の全体会に会長出席
- 9月23日 本高柏樹祭に出席
- 9月29日 第四回役員会
- 10月1日 本高同窓会報第二号発行
- 10月16日 中高連絡会開催
- 11月10日 第五回役員会
- 11月22日 若泉会役員会出席
- 12月7日 第六回役員会
- 12月26日 年賀状発送
- 60年1月2日 鶏友会(高4回卒)の全体会に会長出席
- 1月20日 仁手支部長決定
- 1月30日 沖電気代表者決定
- 2月2日 第七回役員会
- 2月2日 本庄市コミュニティNVS市民運動推進協議会へ入会
- 2月8日 母校へ助成金贈呈
- 2月9日 支部長会議及新年会開催
- 3月6日 第八回役員会
- 3月11日 新入会式に出席
- 3月11日 新入会役員との懇親会開催
- 3月12日 本高卒業式に出席
- 3月22日 育英資金贈呈



御挨拶
同窓会長 岡 祐 孝

本高同窓会報第三号の発行に際して一言御挨拶申し上げます。昨年六月の通常総会で会長に選出されて以来瞬く間に二年が経過しました。この間は同窓会の運営にあたり如何にしたら皆様から親しまれ愛される同窓会作りが出来るかのノウハウを模索し別記スローガンを掲げた次第です。先ず最初に取り組んだ事は支部組織を整備強化して同窓会の活性化を図り以て会員相互間に親睦の環を拡げる仕事でした。幸にも役員一同の御協力と会員の皆様の御理解を得て多少なりとも所期の目的達成に近付く事が出来たことは何よりの喜びであります。次に本年度事業計画の最大の目玉として、来る七月皆様待望の同窓会名簿を約十年ぶりに発行する事でありませう。座右に置いて随時御利用の上会員間のコミュニケーションを深めて頂ければ幸甚に存じます。次に同窓会報は公約通り第二回発行することができました。又後輩の指導育成の面では育英資金制度を復活し一名の該当者に交付しました。今後も幾多の有益な新規事業を企画立案しておりますので宜しく御支援御協力の程御願ひ致します。

スローガン

1. 名誉ある歴史と伝統に輝く母校を愛し 母校の発展に寄与しよう。
1. 本高同窓会の旗の下に結集し、地域に 香り高い文化の花を咲かせよう。
1. 人間関係を大切に、会員相互間に親 睦の輪を拡げよう。
1. 組織を整備強化し、機能的な連絡網を 拡充して、同窓会の活性化を図ろう。
1. 建学の精神を尊重し、後輩の指導育成 に努めよう。

本部署員

- 会長 岡 祐 孝
副会長 立川大作、竹並栄一郎、橋爪茂夫、関口一郎、吉田建治、高木敏子、杉山律子、(教頭) 若田淳、手島登
監事 戸谷金克、江原清吉、山本厚生、内野ヨシエ、増沢清茂、塩原英雄、待田直次、(校長) 岡谷敏朗

昭和60年三月卒業 幹事一覽

- ス クラ 氏名 電話
- 1 前川 正美 七七一三四一三
 - 1 高崎 明美 二二四八八一八
 - 2 高崎 達夫 二二四二〇〇九
 - 2 宮永 茂樹 二二一三三六七
 - 3 根岸 章 七六一三〇三五
 - 3 井出 純子 〇三三二四九九
 - 4 堀込 和彦 二四一五三四五
 - 4 梅村 葉子 二二一五二五一
 - 5 井村 克也 二二一五九四七
 - 5 南谷 真美 二二一四九五二
 - 6 倉林 文文 三三三三八三七
 - 6 加納 一 二二一〇六五八
 - 7 下部美英子 七六一二五九六
 - 7 岡田 浩子 二二一九四八一
 - 7 鳥山 昭広 二二一五六〇三
 - 8 中畠 智好 七七一五七八
 - 8 塚口未栄雄 二二一四〇三七
 - 8 山田亜希子 七二一〇二九三
 - 9 河田 信一 二二一五三三八
 - 9 松本ふじの 二二一三四二二
 - 9 石井 秀一 二二一五七〇五
 - 定 高橋 道明 二二一九〇八四



母校の近況

校長 国谷敏朗

同窓会名簿の発刊も近く同窓の皆さんの関心が最近特に高まっているようでありませぬ。過日神川村の青木教育長さんが学校に見えられ同期の方の消息が全判明したことを話して行かれました。大変嬉しいことであり、又役員の方々が大変努力されている様子が窺われるのであります。去る三月十二日全百制三九八名定時制九名の卒業生を送り卒業生総数は二四六一名に達しました。新しい名簿の発刊によって会員相互の連帯が、より深まることとあります。母校も先輩の方々の期待にこたえるよう頑張りたいと思っております。大学進学も中々御期待に添うと

卒業生の声

四年間を

ふりかえって

59年度卒(定) 石井秀一

早くも卒業の時期が来てしまった。私は本高を四年で卒業する気であったが、もっその卒業になるとは、早い。早すぎる。いま一つピンと来ない。今の自分は、これから学校を卒業して家の仕事を一人

卒業するに

あたって

59年度卒(全) 宮崎明美

私が本庄高校の門をくぐった昭和五十七年四月八日は、午前中雨の降った、じめじめとした日でした。そして、卒業式を明日に控えた今日もまた、雪がしんと降っています。しかし、私にとって本庄高校での三年間は、カラッと晴れあがった青空の下で……というよすが、本心に染みこみ毎日でした。

勉学と共に私が本庄高校で学んだ事は、人間形成の上で非常に重要な事だと思えます。本庄高校は学校全体に自由な空気が流れ、生徒はそれを上手く生かして各々の個性を持ち、光り輝いています。そのような本高生としてのすばらしい面を卒業しても忘れず、頑張り続けたいと思えます。在校生の皆さんにも頑張り続けて頂きたいと思えます。

同窓会に

入会して

59年度卒(全) 宮崎達夫

私たちは旧制中学校から教えて第五十九回卒業生として、本庄高校同窓会に名を連ねることになった。過去の五十八回の卒業生の中には、戦争で亡くなった方もあれば、今もなお、いろいろな方面で活躍なさっている方も多し。教師として母校にもどる、新たな世代

を育てている方もいる。母校の歴史の深さを改めて感じると同時にその数多くの先輩の方達の仲間入りができることを誇りに思っています。

高校生活の三年間は短いようだが、人生の中で重要な意味を持つ期間であると思う。この本庄高校で過ごした三年間を踏み台にして多くの先輩の皆様のご指導をいただき、向後は同窓会員として同窓会及び母校の発展のためにお役に立てるように微力を尽くしたいと思います。

昭和60年度 教職員等人事異動

(敬称略)

- 〔転出〕
 - 教頭 新藤 格 県立秩父東高校 長へ
 - 教諭 浅見 宏 県立松山女高へ
 - 田沼 啓 妻沼高校へ
 - 非常勤講師 塚越雅弘 行田養護学校へ
 - 田端浩幸 川本高校へ
 - 〔転入〕
 - 教頭 岩田 淳 伊奈学園総合高校 校より
 - 教諭 小金沢喜範 県立深谷第一高校より
 - 非常勤講師 吉田絃子 根岸隆博
 - 須長正実 上原正和
 - (定) 大島浩一
 - 〔退職〕 実習助手久保弘美 上尾橋高校へ 新採

- (三頁四段目からの続き)
- 文京女子2 前橋青英1 フェリス女子学院1 目白学園3 共立女子1
- △専門学校▽
 - △工業▽日本工学院9 東京電子2 中央工学校2 埼玉電子工学院2 関東工業1
 - △医療▽県立北高等看護学院3 県立南高等看護学院3 都立府中看護学校1 都立豊島看護学校1 大宮衛生師学院1 埼玉歯科衛生1 帝京医学技術1 大東医療1
 - △衛生▽真野美容1 前橋美容1 資生堂美容1 山野美容1 後藤学園1 埼玉県栄養1 東京製菓学校1
 - △教育社会福祉▽東京YMOA1 △商業実務▽高崎スクールオブビジネス6 東京スクールオブビジネス2 東京YMOA1 埼玉電子工学院3 パンパシフィックインスティテュート1 東京オペレーター1 埼玉電子工業1 千代田芸術1 東京会計士4 東京コンピュータ1 3 早稲田速記2 中根速記1 東京工学院1 村田簿記1 大原簿記1 東放学園情報1 富士ビジネス1
 - △家政▽高崎文化服装1 文化服装1 革服飾1 ヴォーク編物1 杉野学園1
 - △文化教育▽東放学園1 青山レコーディング1 駿台トラベル2 トラベルジャーナル3 東京デザイン1 4 織田服飾デザイン1 東京学院2 日本ジャーナリスト1 通訳ガイド養成所2 神田
 - (次頁五段目へ続く)

創業永祿三年(1560年)

八谷全

戸谷全 克 (旧中23・高1)

営業内容 { 陶磁器部・有料駐車場部
旺文社LL教室 (新設)

本庄市仲仙道いせやチエーン隣・電話22-2008

OKA HOSPITAL

内科・小児科・循環器科・放射線科
胃腸病科・呼吸器科・理学診療科
人工透析・人間ドック

岡病院

院長 岡 祐 孝 (旧中9回)

本庄市銀座3-5-8 電話(0495)22-6291代

終身会費納入についてお願い

親愛なる全国式万有会名の同窓生の皆様、平素同窓会の為に何かと御協力を賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます。さて本年七月に本高創立六拾周年記念事業の一環として皆様待望の同窓会名簿を発行する運びと相成りました。多数会員の御購読を希望致します。

昨年来同窓会本部では会員名簿の作成を手始めに幾つかの新規事業を企画立案し強力に推進する様努力しております。然し乍ら幾多の事業を遂行する為には御案内の通り、それ相当の基礎財源を必要とします。同窓会では年会費金壹千円也と入金金金式千円也それ終身会費金壹万円也と特別寄付金、其他で財源を賄っております。社会の各分野で御活躍の同窓生の皆様に終身会費の御拠出を御願ひ申し上げましたと云、現在迄に既に式百四拾九名の方々から御納入頂きました。紙上を借りて謹んで謝意を表します。尚今後共同窓会活動に深い御理解を頂き倍旧の御支援御協力を賜ります様御願ひ申し上げます。

終身会費の納入の際には左記口座へ入金下さい。
郵便局振込口座番号東京三一八七〇〇、又は埼玉銀行普通預金口座番号本庄一八九一〇七七七三。
本高同窓会役員一同

終身会費納入者芳名(その二)

敬称略・受付順

- 戸谷金虎、江原清吉、岡てい子、森田徳英、橋爪茂夫、松永広純、牛久保敏一、岡清典、根岸良一、関口雅之、松原文司、真下惠美子、関口八郎、池田修爾、中野恒、梅村孝雄、牛久保和雄、金井正造、田村裕、森田清司、高橋正昭、高橋嘉明、国谷敏朗、田村登美子、齊藤淑人、須藤好夫、江原節子、
- 中原実、島羽登、目黒輝久、富田進、荻野千鶴、山田米作、青木彰、戸谷修康、小泉マサ子、上原智博、島田徳三、坂本園子、設楽正春、大塚宏、亀田能紀、川端勝治、神長金義、門倉正隆、松本真明、島田登子、田中靖夫、小谷野博、小暮浩一、中原和喜、荒井正夫、新井茂、渡辺道夫、

- 中村勝、小林金重、金井文太郎、恩田三郎、恩田高治、入和男、鹿田勇、日向義雄、小林正夫、山口勝吉、吉田敏一、黒田謙雄、福島八郎、高田節子、林芳和、庄田孟史、塩原正明、竹内清四郎、内田規晴、小林晶、亀田弘、大場正明、幸田優二、戸塚亮男、荒井茂、大塚実、山田鎮政、矢崎昭夫、朝比奈利雄、門倉義久、内藤明、矢島稔、加古親馬、松原康男、石原道夫、飯塚栄、須賀裕、清水勲、桑原広太郎、赤沼賢一、須賀喜太郎、塚越寿衛、橋爪国典、横堀二郎平、関口一郎、山本康夫、大塚俊雄、齊藤福三郎、立石正美、小林幸緒、赤沼真治、福田喜一郎、萩原昌彦

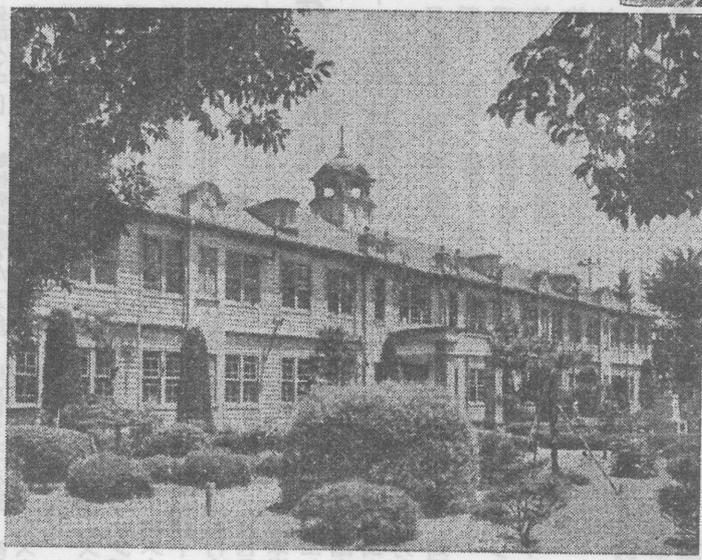


本庄高等女学校跡記念碑 (校歌)

編集後記

編集にあたり関係者の皆さんに大変お世話になりました。全国各地の二万余の会員に如何に会報をお届けするか。予算不足で郵送料に限界があり、今回は終身会費納入者と本年、昨年卒業生に郵送し母校恩師と在校生には直接配布致します。

同窓会名簿も完成に近づき四千余部の注文があり近日郵送される予定です。(同窓会事務局一同)



なつかしい旧制本中学校舎

建物・住まいの相談は
株式会社 **吉田建設**
吉田建治(高2回)
見玉町大字秋山2733
TEL(0495)72-0128・4829

ヤマハ特約店
本庄堂楽器店
社長 太田 官人(高2回)
本庄市銀座通り
TEL 0495-24-5630